

インターネット販売を行っている店舗等の相談対応に関する事例について

特定非営利活動法人日本オンラインドラッグ協会

【ネット上の質問の工夫で相談をうけた事例】

解熱鎮痛薬（ロキソニン S）を初めて購入する方が、「このお薬をはじめて服用(使用)する」にチェックをしたら、質問するようにメッセージが表示されたので薬剤師に連絡してきた。既に使用経験があり、禁忌事項にあたる事がなく、抜歯後の疼痛との事が判明した為、販売した。(2013/02/26 23:38)

発毛剤（リアップジェット 100ml）を購入したい方から、質問項目のうち、「このお薬をはじめて服用(使用)する」と「65才以上である（私は65歳です）」に該当するが、購入は可能かと薬剤師に連絡が来た。壮年性脱毛症ではなかった為販売しなかった。(2013/01/20)

浣腸剤（ケンエー浣腸 30g×2個入）を購入したい方から、アンケートに当てはまる項目がなかったので、購入して問題ないか薬剤師に連絡が来た。習慣的に使用している事は確認されず、一時的な便通異常と確認された為、最小容量かつ最小包装数を販売した。(2013/02/07 16:00:35)

【現在使用中の一般用医薬品の使用中止の進言をした事例】

二日酔いの胃もたれで H2 ブロッカー（ガスター 10）を利用していると聞いたが、H2 ブロッカー（ガスター 10）は胃酸が出過ぎる事が原因の時に使用する薬なので、消化健胃薬（ハイウルソ顆粒）をすすめた。(2013/02/25 14:25)

【一般用医薬品の販売を行なわなかった事例】

病院から、処方を受け、尿酸治療薬（アロチーム）降圧薬（オルメテック）を服用している方から、精神不安や動悸を改善する一般用医薬品（ノイ・ホスロール）を飲んでも大丈夫か相談をうけた。

この一般用医薬品には、甘草という成分が入っていて、偽アルドステロン症という副作用を起こすことがあるので、血圧の高い方や腎臓の悪い方には注意が必要である為、併用についてはかかりつけのお医者さんに相談してから利用するよう伝えた。(2013/02/22 18:29)

ここでの漢方薬は苓桂甘棗湯（りょうけいかんそうとう）

糖尿病で病院から糖尿病治療薬（ベイスン）の処方を受けている方から一般用医薬品の漢方薬（ナイシトール）を併用しても問題ないかという相談を受けた。

現在病院で治療中であれば、現在服用しているお薬との併用については、かかりつけのお医者様に相談するよう伝えた。（2007/01/16 17:58）

ここでの漢方薬は防風通聖散（ぼうふうつうしょうさん）

【医療機関への受診を勧めた事例】

自分は胃潰瘍を患っているという方から、胃カメラを飲む前に治療したいので H2 ブロッキング（ガスター 10）を飲みたいと相談を受けた。胃カメラの前に安易に H2 ブロッキング（ガスター 10）を利用することもすすめられない旨伝え、消化器が専門のお医者さまにご相談し、胃カメラで検査をするよう伝えた。（2013/01/31 17:12）

急性前立腺炎を患った方が、9 日ほど入院し、その後、最初の便が固く裂け痔になって痛いので、一般用医薬品の外用痔疾用薬（ボラギノール A 坐剤）を使用したいが、問題ないか相談を受けた。現在飲んでいる病院の薬は前立腺肥大症治療薬（ハルナール D 錠 0.2）。泌尿器科で受診しているのであれば、病院の先生に相談するよう伝えた。（2012/07/17 13:42）

【飲み合わせ相談】

心療内科に通院し、処方を受けている方から、強力アスメトン 60 カプセルと一緒に服用しても問題ないか相談を受けた。咳がなかなか止まらないので、「強力」というネーミングに惹かれたとの話。心療内科からは、ベタマック錠 50mg、デジレル錠 50mg、レンドルミン D 錠 25mg、デパス 1 mg が処方されている。

現在服用されているお薬は他のお薬と併用により、何かしらの作用を起こす可能性があるため、一般用医薬品の利用を避け咳止めは病院で処方して頂くことをおすすめした。

（主治医への相談をアプローチする観点）

（2013/02/21 13:42）

【適切な医薬品選択の相談】

筋緊張性頭痛の診断を受け、ロキソニンを胃粘膜保護剤と一緒に服用している方から、病院で処方された MM 散という薬と同様の薬が市販薬であれば助かるので教えて欲しい旨相談を受けた。鎮痛剤を服用すると、すぐ胃が痛くなるので、副作用が少ない胃粘膜保護剤が欲しいとの事。市販薬では太田胃散が近いお薬になるとご案内。ロキソニンを長期利用される方は、病院での治療をおすすめした。（2013/02/22 19:11）

52 歳の女性から、食後、特に昼食後 2 時間後くらいにむかつき症状、胸焼けになるので、良い胃腸薬はないか相談をうけた。

朝、夕食の食事後 2 時間のお体の様子が昼と同じような症状であれば、胃酸を抑えるお薬が効果的だが、昼食後のみであれば食後、胃がきちんと消化できず、胃から小腸へ行く過程がうまく働いていない可能性が高い。梅干などのすっぱいものを食べて、よく噛んで食べても、症状が軽減しなければ、消化酵素剤入りの胃薬を飲んでみるのも良いとアドバイスをした。(2013/02/06 13:25)

【製品名や成分名を指定してきたが、相談応需の後に変更した事例】

サプリメントコエンザイム Q10 が話題となり試してみようかと思っているが、高齢で不整脈と高血圧の薬を飲んでいる 84 歳の母親も一緒に飲んで良いかと相談をうけた。

高齢で不整脈と高血圧の薬を飲んでいるお母様の場合は医師に相談し症状の変化を見ながらでないコエンザイム Q10 の摂取はしないよう伝えた。

(不整脈の治療をしている方は、ワーファリンというお薬を服用している場合があり、コエンザイム Q10 がビタミン K 様の働きをし、ワーファリンの効果を弱める可能性がある。また、高血圧の薬を飲んでいる場合は過度に血圧が下がりすぎる場合がある)

(2004/09/20 16:31)

妊娠 8 ヶ月の 24 歳の妊婦から、鼻炎がひどく夜も熟睡できない状態で、市販の鼻炎用点鼻薬(ナザールスプレー/成分塩酸ナファゾリン・マイレン酸クロルフェニラミン・塩化ベンザルコニウム)を点鼻しているが、この薬の注意事項には妊婦は医師か薬剤師に相談するようにと書かれているのでまずは産婦人科医に相談したところ耳鼻科の医者に相談するように言われた。知り合いの耳鼻科医もいないので、相談に乗って欲しい旨連絡をうけた。この医薬品は、妊娠中であれば、慎重投与のお薬になるので症状がある時だけ使用して、漫然には使わないよう伝えた。小青竜湯という漢方薬があり、産婦人科でも処方してもらえる旨ご案内。(2003/12/22 09:15)

抗鬱剤の副作用でひどい便秘で、便秘用の一般用医薬品を 3 種類ためしているが(スイマグ、ビューラック、コーラック)これらよりしっかり効く下剤があるか相談をうけた。

便秘薬の過剰利用はおすすめできないので、生活習慣などについて、アドバイスをした。(2013/02/22 19:43)